聖泉看護学研究　投稿規程

1．趣旨

この規程は，聖泉看護学研究の発行に必要な事項を定める．

2．発行

原則として毎年度１回発行する．

3．投稿者の資格

原則として，聖泉大学看護学部の教員，聖泉大学院看護学研究科在学生または修了生等が，第一著者あるいは共著者であること．ただし，学術誌編集委員会（以下「編集委員会」という）から依頼された原稿に関してはこの限りではない．また，編集委員長の判断により投稿を認める場合がある．

4．論文種別

論文種別は，総説，原著，研究ノート，資料，その他とし，国内外を問わず未発表のものに限る．

種別	内　容
総説	看護活動や看護教育に関する研究の総括，解説，提言など．
原著	研究が独創的で，オリジナルなデータ，資料に基づいて得られた知見や理解が示されており，目的，方法，結果，考察，結論，等が明確に論述されているもの．
研究ノート	内容的に原著論文に及ばないが，ある研究の方向性が示され，発表の価値が認められるもの．
資料	保健・医療・福祉の向上・発展に貢献する資料など．
その他	編集委員会による企画記事，看護活動や看護教育に関する取り組みや報告，論文の紹介，海外の学術集会への参加報告など．

5．倫理的配慮

人および動物が対象である研究は，倫理的配慮を行い，論文中にもその旨を明記する．また，倫理審査委員会（もしくはそれに相当するもの）での承認が必要であった論文については研究倫理審査委員会の承認を受け，承認番号を記載する．

6．利益相反（COI）

1）研究の成果にバイアスがかかっているかを判断する材料となるよう利益相反（Conflict of Interest：COI）の開示が必要である．著者全員が研究内容に関係する企業・組織または団体との１年以内の利益相反状態について「利益相反申請書」に自著署名し，PDF にて送付する．

2）当該研究の遂行や論文作成において，利益相反となるような経済的支援を受けた場合には，その旨を「謝辞」の次に「利益相反」の項目を設けて記載する．利益相反状態が存在しない場合には，「利益相反は存在しない」と記載する．

7．投稿手続き

1）投稿者は，メールで投稿希望の旨を連絡（kango-journal@seisen.ac.jp）する．その際，論文題目，著者名，所属機関名とともに，総説，原著，研究ノート，資料，その他の中から希望する論文種別を記載する．

2）編集員会からの返信内容に従い，送付データには全てパスワードを付け，指定された期日までに論文を投稿する．

8．原稿受付および採択までの流れ

1）編集委員会は投稿原稿を受理した後，投稿者にその旨を通知する．メールで原稿を受け取った日を受付日とする．

2）投稿規定に従っていない場合は受け付けないことがある．

3）投稿された論文は，学内外の研究者が査読を行い，編集委員会での協議を経て，採否を決定する．なお，査読者は論文種別や論文題目・研究方法等により，編集委員会が選定し依頼する．

4）編集委員会の判定により，原稿の修正および原稿の種類の変更を求めることがある．編集委員会は採否の理由を付して投稿者に通知する．

5）投稿者は編集委員会に指定された期日までに必要な修正を行い，再投稿する．

6）採用が決定した場合は，その旨を投稿者に通知し，最終原稿は電子媒体での提出を求める．

7）採用が決定した論文は，著者校正を１回程度行う．但し，校正時の大幅な加筆は認めない．

8）原稿の提出は，原則，メールであるが，郵送の場合は封筒の表に「聖泉看護学研究原稿」と朱書きし，聖泉大学看護学部学術誌編集委員会宛て（〒521-1123　彦根市肥田町720番地）に電子媒体を書留郵送する．　費用は投稿者が負担する．郵送された電子媒体は返却しない．

9．執筆要領

投稿原稿の執筆要領は別に定める．

Presented by Medical*Online

10. 著作権

1）掲載原稿の著作権は編集委員会に帰属する．掲載後は編集委員会の承諾なしに他紙に掲載することを禁ずる．著者全員が「著作権移譲承諾書」に自筆署名し，編集委員会に PDF で送付する．

2）原稿が採択された場合は，原本を編集委員会に送付する．論文題名に変更があった場合，「著作権移譲承諾書」には最終確定した論文題名を記入して送付する．送付にかかる費用は投稿者が負担する．

3）原本は編集委員会で 2 年間保管し，その後破棄する．

11. 掲載料・別刷

掲載料は無料とする．但し，特殊な図表等で特別な経費を要した場合には著者負担とする場合がある．

別刷は希望者のみとし，費用は著者負担とす．

2024年 3 月 1 日　改訂
2024年 4 月 1 日　施行

Presented by Medical*Online

聖泉看護学研究　執筆要領

1．原稿の体裁

1）原稿作成時の注意点

執筆に際しては，原則 APA スタイルに準拠する．

2）原稿の様式

原稿は原則として MS ワードを用い，A 4 版40字×30行（1200字）の横書きとする．フォントは，11ポイントで和文は明朝体，英数字は Century とする．余白は，上35㎜下左右30㎜とする．

3）仮名づかい

新仮名づかい，ひら仮名使用とし，句読点（.）（,）は 1 字分とする．

4）英文

1 字分に半角 2 文字を収める．

5）数字，記号

全て算用数字とし，カッコ（「，『，（，〔など　）は，1 字分に半角 2 文字を収める．

6）単位符号

原則として SI 単位（kg，mg，mm，ml，kcal，℃など）を用いる．

7）外国語

固有名詞以外の外国語は，できる限り訳語を用い，必要な部分は初出の際のみ原綴を付する．

8）見出し

見出しは，章・節・項の順にⅠ，1，1），（1）を使用し，読みやすく構成する．

9）その他

国際的な共通語を使用し，略語や符号などは一般的に認められている略語，符号等に関しては，初出時に簡単な説明を加える．

10）原稿ファイルは，本文，図，表に分ける．本文に表紙はつけず，「表紙」を作成する．

11）著者名，所属機関名，承認を得た倫理審査委員会名・承認番号，謝辞など個人を特定できる事項は「表紙」内に記載し，投稿論文ならびに図表中には記載せず，「○○」や黒塗りで置き換える．

2．原稿の制限ページ数

投稿原稿の 1 編は本文，文献，図表を含めて以下の枚数とする．

総説，原著，研究報告，資料：15枚以内

その他：8 枚以内

図表 1 枚は2000字，1／2 枚程度は1000字，1／4 枚程度は500字の原稿量に相当する．

3．表紙

表紙には，題目（和文と英文），著者名（和文と英文），所属機関名（和文と英文），キーワード（和文と英文，各 6 語以内），代表者の連絡先，原稿枚数，図表及び写真の枚数，希望する論文種別，別刷必要部数，編集委員会への連絡事項を記載する．

4．抄録

和文抄録は総説，原著，研究ノート，資料に，600字程度のものをつける．抄録は，目的，方法，結果，考察に分けて見出しをつけて記述する（構造化抄録）．英文要旨については，原著，研究ノートでの掲載が決定すれば300words 程度のものを native check を受けた上で付ける．

5．本文

次のように書くのが望ましい．

Ⅰ．緒言：研究の背景，目的

Ⅱ．研究方法：研究・調査・実験・解析に関する手法の記述および資料・材料の集め方

Ⅲ．研究結果：研究等の結果

Ⅳ．考察：結果の考察・評価

Ⅴ．結語：結論（省略してもよい）

6．付記

学術集会等で発表し投稿内容の一部または全部が既に公表されており，それらを加筆・翻訳した形で投稿する場合については，その旨を付記する．科研費等の助成を受けている場合についても，その旨を付記する．

例	本論文は，聖泉（2008）で発表した研究を発展させてその成果をまとめたものである．
	本研究は JSPS 科研費 JP16K45678の助成を受けたものである．

7．謝辞

謝辞は，当該研究に対して助言や協力を受けた者を記す．

8．参考文献

1）本文中の参考文献の引用

本文中の引用は，（著者苗字，出版年）や（著者苗字，出版年：引用ページ）のかたちで表記する．共著者がいる場合，和文文献の場合は著者を「，」でつなぎ，著者が 3 名以上いる場合は第一著者のあとに「ら」とする．英文文献の場合は著者が 2

Presented by Medical*Online

名のときは和文と同様に「,」でつなぎ，著者が３名以上の場合は，第一著者のあとに「et al.」をつける．

例	単著	（山崎，2008） （山崎，2008：30-35）
	２名の著者	（姉崎，米林．1982） （Walker，Avant，2005）
	３名以上の著者	（宮崎ら，1985） （Walker，et al. 2005）

２）参考文献の記述形式

論文等の最後に「文献」として著者苗字のアルファベット順で一括し，姓と名の両方を記す．欧米圏の著者名の場合は，Family Name（最初の文字だけ大文字）と First Name のイニシャル（大文字）で表す．複数の著者の場合は，ひとりずつカンマ（,）で区切り，著者が３名以上の場合は，３名までの著者名を記し「○，○，○，他.」もしくは「○，○，○，et al.」と表記する．同一著者の著作物を複数扱う場合，発表年の昇順で列挙する．雑誌名は省略せず，出版年は西暦で表記する．

種類	記述形式	例
雑誌論文	著者名.（発行年）：論文表題，雑誌名，巻（号），始頁–終頁.	日本太郎，看護花子，研究二郎.（1998）：社会的支援が必要なハイリスク状態にある高齢入院患者の特徴，日本看護研究学会雑誌，２（１），32-38.
単行本	著者名.（発行年）：論文表題，編者名，書名，始頁–終頁，出版社名，発行地.	研究太郎.（1995）：第１章　物質の姿と成り立ち，聖泉太郎，看護基礎科学入門，23-52，研究学会出版，大阪.
翻訳書	原著者名.（原書の出版年／翻訳書出版年）．翻訳者名（訳），翻訳書の書名，始頁–終頁，出版社名，発行地.	Walker，L．O.，& Avant，K，C.（2005/2008）．中木高夫，川崎修一（訳），看護における理論構築の方法，77-79，医学書院，東京.
Webページ	制作者名：タイトル，アドレス（URL）.	日本社会学会（2009）：日本社会学会ホームページ，http://www.gakkai. ne.jp/jss.（閲覧日：2024. ２. 23）

９．図表及び写真

図表，写真などは直ちに印刷できるように別紙に作成（１ページに１つとする）し，挿入箇所を論文中の欄外に指定する．一連番号を付するとともに，必ず題を付ける．なお図，写真は刷り上りではモノクロ印刷となることに留意する．

10．提出物

１）初回投稿時

正本（オリジナル）原稿１部，副本（コピー）原稿２部，投稿論文チェックリスト，『聖泉大学看護学研究』利益相反（COI）申告書

２）２回目投稿時（修正原稿投稿時）

正本（オリジナル）原稿１部，副本（コピー）原稿２部，投稿論文チェックリスト，

３）３回目投稿時（校正原稿投稿時）

最終原稿１部，投稿論文チェックリスト，著作権委譲承諾書

2024年３月１日　改訂
2024年４月１日　施行

Presented by Medical*Online

聖泉看護学研究　論文チェックシート（1回目）

投稿の際は，以下のチェックリストを用いて点検確認を行った上で，本紙を原稿に添付して提出して下さい.

1．提出物とその内容

	正	副
□部数	1部	2部
□表紙	□題目（和文） □著者名（和文と英文） □所属機関名（和文と英文） □キーワード（和文，6語以内） □代表者連絡先（住所，Tel，メールアドレス） □別刷り必要部数 □編集委員会への連絡事項	□題目（和文） □キーワード（6語以内） ※それ以外の項目は削除しておく
□抄録	□目的，方法，結果，考察に分けて見出しをつけて記述している（構造化抄録） □和文抄録…400字程度 □英文抄録（総説，原著，研究ノート，のみ）…250語前後，native check 済 □ native check 済（証明書または，チェック中であることが分かる文書をつける） ※ A 4 用紙 1 枚に収め，ページ番号はつけない ※論文種別「その他」については，抄録は不要。	
□本文	□本文は，執筆要領に示す原稿の体裁にしたがって記述している □倫理的配慮について明記している（承認番号，承認日） □図表の挿入位置を指定している □研究助成金を受けた場合は，その旨を明記している □文献は，執筆要領に示す引用の仕方や記述形式に従って記述している □ページ番号をつけている	□付記や謝辞等から，投稿者を特定できるような事項は削除している.
□図表 もしくは 写真	□1ページに1つずつ作成している □図1，表1，写1など一連番号とともに，題がついている ※ページ番号はつけない	

2．ページ制限

□ページ数は，投稿規定，執筆要項に従っている．（原稿は図表を含め，総説，原著，研究ノート，資料　15ページ以内，　その他8ページ以内である）

3．最終確認

□投稿規程，執筆要領に準じ定められた通りになっていることを最終確認した.

（西暦）　　年　　月　　日

自署

Presented by Medical*Online